

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

B.C.D—STEP1,F.G—STEP1,J—STEP1,N—STEP1

本事例の動画や教材等ははこちらから



学年	2年生	教科	生活・国語・食育	単元名	めざせ野菜作り名人
単元でつけた力	<ul style="list-style-type: none"> 自分が選んだ野菜を育てる活動を通して、変化や生長の様子を観察し、他者が育てている野菜とも比べながら野菜ごとの生長や違いなどの変化に気づく力。 野菜も自分たちと同じように生命を持っていることに気づき、命の大切さを考える力。 〈情報活用能力〉 <ul style="list-style-type: none"> 育てている野菜の観察を行う為に、タブレット端末のカメラ機能を活用する力。 <u>本で調べた情報を思考ツールに整理してまとめる力。</u> 				
本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 育ててみたい野菜を季節ごとに分類し、季節によって収穫できる時期が違うことを知り、夏に収穫できる野菜の中から育てたい野菜を決める。 				

学習の流れ	主な学習活動と内容	情報活用のポイント
導入	<ul style="list-style-type: none"> めあての確認「野菜によって収穫時期の違いがあるのか調べよう。」 タブレット端末でのXチャートの使い方や野菜のカードの動かし方などを確認する。 	タブレット端末を用いて、グループで共同作業する時のポイントを伝える。
展開	<ul style="list-style-type: none"> みんなが出した野菜のカードを自分の考えや知っている情報を基に季節ごとに移動させる。 季節に分けた野菜が合っているかを本で調べ、正しい場所にカードを移動させる。 	知っている情報だけでなく本からの情報を入れることで、野菜によって収穫時期が違うことに気づかせる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本を使って調べたことや知っている情報を伝えあう良さや、タブレットの便利さや難しかったことなどについて振り返りをする。 次回の学習について知る。 	タブレット上の操作について大事なことに気づかせる。

思考スキル	シンキングツール	1年	2年	3年	4年	5年	6年
分類する	ベン図、X、Y、座標軸、マングラ、マトリックス、くま手、	○	○	○	○	○	○

先生の関わり

- タブレットがうまく操作できない児童を把握し、声をかける。
- 野菜の名前だけでは分からない児童には、どうすれば分かるかを問いかけ、本から見つけられるように声をかける。
- たくさん書かれている文章から、必要な情報を探すときのキーワードや絵などに書かれた情報から見つける方法も伝える。

初めてのタブレット上でのXチャートに挑戦!!

活動がスタートした時の様子

- カードを移動するときに、間違えて消してしまう。
- カードが180度回転してしまう。
- うまく動かせない。
- 他の班のところに間違えて入ってしまい消してしまう。

活動中の様子

- 徐々に操作に慣れカードをスムーズに動かせるようになった。
- 画面上のカードが消えても落ち着いて対応できるようになった。
- できるようになった児童が、困っている子に教える姿が見られた。
- タブレット上で動かすことで、書いて貼るという作業が減り、子どもたちが相談しながら活動する場面が増えた。
- 図書館で借りてきた本から、児童同士が積極的に自分で調べた情報を伝えたり、相談したりしながら、必要な情報を見つけ出すことができていた。
- クラウド上で他の班のXチャートを見ることができ、それを自分たちのXチャートをまとめることに活かしている姿が見られた。

児童の感想(Xチャートを使ってみて)

- 自分が育てるナスやキュウリの観察をしたいときに自分たちが調べたXチャートを見たら、どの季節で、育てたり観察したりできるのかが分かるからよかった。
- 楽しかったし、分かりやすいし、いろんな野菜が育つときが知れてとてもうれしかった。夏野菜ってなんだろう?と聞いていたけど分かった。

